

キリトリ線

郵便はがき

1 0 4 - 8 7 9 0

1 0 0

東京都中央区築地6-19-20
ニチレイ東銀座ビル

株式会社ニチレイ
財務部 行

料金受取人払

京橋局承認

1920

差出有効期間
平成13年3月
31日まで



〒 都道府県 市区部

ご職業 男 女

フリガナ

お名前 満 才

TEL. ()

ご協力ありがとうございました。

株主メモ

決算期 3月31日
定時株主総会 6月
基準日 3月31日
(そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)

利益配当金支払
株主確定日 3月31日
中間配当金支払
株主確定日 9月30日

上場証券取引所 東京・大阪・名古屋・福岡・京都・札幌
公告掲載新聞 日本経済新聞
名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目6番2号
みずほ信託銀行株式会社

同 事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目6番2号
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

〔郵便物送付先〕〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号
電話お問合せ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
☎(03)3642-4004 (大代表)

同 取次所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店
安田信託銀行株式会社 本店および全国各支店

お知らせ

配当金を郵便貯金口座へお振り込みすることができるようになりました。お手続きには振込指定書のご提出が必要です。上記名義書換代理人までご請求ください。



Vol.5

第83期 中間事業報告書
平成12年4月1日～平成12年9月30日





いま、
新たなるステージへ。

C O N T E N T S

表紙絵の画家プロフィール

今回の表紙絵は、米国人女性画家 Donna Perkins (ドナ・パーキンス) さんの作品です。現在、米国サンフランシスコにて共同ギャラリーを開いており、その作品は絵画やカードのほか、Tシャツやランプシェードにも用いられ、人気を集めています。

株主の皆さまへ	2	INTRODUCTION	12
連結決算概要	3	特集・3PL事業への取組み	13
単独決算概要	7	ヒット商品開発ストーリー	15
株式の状況	10	会社概要	17
KEY WORD	11		

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに第83期中間事業報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当中間期は、長引く消費低迷のなか、企業間競争が一層厳しさを増しましたが、当社グループにおいては、冷凍食品を中心に加工食品事業が好調だったことなどから、前期に引き続き成果をあげることができました。

さて、当社は、21世紀の発展に向けて1998年度から3か年にわたり、「お客さまが満足する価値の最大化・最良化」を目標とした事業の構造改革に取り組んでまいりましたが、本年11月、新たに2001年度から2003年度にわたるグループ中期経営計画を策定するとともに、株主の皆さまに評価されるグループ経

営の仕組み作り着手しました。

このグループ中期経営計画では、ニチレイグループがめざす「卓越した食品と物流のネットワークを備える『食のフロンティアカンパニー』として、お客さまにご満足いただける優れた品質と価値ある商品・サービスを創造・提供し、広く好感と信頼を寄せられる企業として社会とともに成長する」ことを具体的に実現していきます。

新世紀を目前に控え、ニチレイグループ各社は「くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する」という経営理念のもと、すべてのお客さまのお役に立ち、それぞれに心のご満足を提供することを使命として全力を尽くしてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成12年12月

グループ中期経営計画

ニチレイグループは、平成12年11月に「グループ中期経営計画(2001~2003年度)」を策定しました。現在取り組んでいる構造改革で構築されつつある「スリムで強靱な企業体質」を活かしながら、「卓越した食品と物流のネットワークを備える『食のフロンティアカンパニー』として『コーポレートブランド』を高め、リーダーシップを発揮する食品上位企業としてのステータスを確立させる」取り組みを、今回の計画の基本としています。

2003年度グループ経営目標(連結)

売上高	6,500億円	当期純利益	95億円
営業利益	230億円	1株当たり利益	30円56銭
経常利益	200億円	有利子負債	1,450億円

代表取締役社長

手島 忠



連結決算概要

事業の概況

当中間期の連結業績は、売上高が2,813億68百万円、営業利益が113億43百万円、経常利益は98億47百万円となりました。特別利益は91億76百万円、その内訳は退職給付債務積立不足額に充当した退職給付信託設定益77億27百万円や、固定資産売却益5億49百万円などであり、特別損失は168億43百万円で、その内訳は退職給付会計基準変更時差異償却額150億26百万円や、投資有価証券評価損11億9百万円などがあります。以上により、中間純利益は13億62百万円となりました。

低温物流事業 [売上高504億63百万円 / 営業利益45億48百万円] 国内

保管型物流事業では、大都市を中心にグループ営業力の強化を図るとともに、お客さまに密着した機動的営業活動を展開した結果、稼働率は前中間期を上回りました。一方、原価面では、引き続き荷役作業コストの低減と事務の効率化に取り組み、成果をあげることができました。また、IT（情報技術）革命への対応として、インターネットを利用したお客さまへの物流情報提供システム「NILE（ニチレイ・インターネット・ロジスティクス・アンド・eコマース）」を開発し、保管商品の在庫や入出庫などの実績を24時間ほばリアルタイムで提供するサービスを開始しました。流通型物流事業では、量販店・食品卸を中心に物流業務外注化の動きが旺盛となるなか、お客さまのニーズにお応えした物流システム提案により新たな取組みを開始しました。

3年前よりスタートさせた「3PL（サードパーティ ロジスティクス）事業」につきましては、お客さまに物流ソリューションを提供する新たな事業として、従来の保管型物流事業とのシナジー効果を発揮しつつ、そのノウハウを蓄積してきました。最近では、当初の「物流業務プロセスの再設計」に加えて、調達から在庫、配送までをコントロールするSCM（サプライチェーン・マネジメント）の実現ニーズが高まってきたことから、事業の機能強化と成長のスピードアップを目的に株式会社NTTデータとアライアンスを組み、平成12年11月に3PL事業を分社化させました。

低温輸配送事業につきましては、価格競争力向上のためのローコスト体制の構築や、高品質な輸配送・共同配送体制の強化に努める一方、保管型物流事業との連携による営業活動を積極的に展開しました。

欧州（オランダ・ドイツ）

欧州グループ各社は、水・畜産物、果汁の輸入量の増加や、冷凍野菜類の生産が好調に推移したことから、在庫量・在庫量ともに前中間期を上回りました。なお、増大する保管・配送需要のもと、オランダで物流センター2ヶ所の新・増設を計画し、工事も順調に進んでいます。

食品事業 [売上高2,341億円 / 営業利益63億90百万円] 加工食品事業

家庭用冷凍食品は、新商品「甘えびシューマイ」が新鮮な甘えび原料の使用と透明な薄皮の技術が高い評価を受け、シューマイ市場を大きく牽引するヒット商品となりました。また、当社独自の加工技術でレンジ調理を可能に

した「天然ぶりの照り焼き」は生活者の健康志向とマッチし、売場の活性化につながりました。「中高生のからあげチキン」や「ミニハンバーグ」、「焼おにぎり」などの主力商品も、リニューアルの効果により順調に拡大しました。業務用は、品質がグレードアップした「Restaurant Useピラフ類」や、衣に工夫を凝らした「手作り風ミニコロッケ」などの新商品が売上げを大きく伸ばしました。

レトルト食品・缶詰につきましては、業務用の「Restaurant Useカレー・ソース類」が好調でしたが、輸入素材缶詰の取扱いを絞り込んだこともあり、売上高は前中間期を下回りました。アセロラ飲料も、競争激化のなかで新商品が伸び悩み、売上高は前年同期並みとなりました。

なお、当社は、品質向上とコスト競争力のさらなる強化をめざし、船橋・高槻・博多の自営3食品工場の生産業務を株式会社ニチレイフーズ（平成12年12月新規設立）に統合し、平成13年4月から生産を開始することとしました。

水産品事業

「おいしさ・安心・安全・簡便」をコンセプトとして、品質・加工度を高めた流通型加工品の取扱いを拡大するとともに、収益性の高い商品と販売ルートへの選択と集中を進めました。これにより取扱数量は前中間期を上回ったものの、消費者の低価格志向の影響を受けて販売価格が低下したため、売上高・営業利益ともに前中間期を下回りました。

畜産品事業

「おいしさ・安心・安全・健康・環境にやさしい」をコンセプトに、抗生物質などの化学物質や遺伝子組換え飼料を使わずに飼育したチキン、成長ホルモンを投与せずに肥育したビーフなど、特長のある素材の調達ルートを国内外に拡大するとともに、積極的な販売活動や販売ルートの安定化に努めた結果、畜産品の取扱数量は前中間期に比べ伸長しましたが、畜産品全般の単価の下落に加え、畜産素材加工品の取扱数量が減少したことから、売上高は前中間期を下回りました。なお、営業利益は、不採算商品のアイテムカットなどにより大幅に改善しました。

食品卸・小売事業等

株式会社ユキワは、株式会社菱食との業務提携による基幹情報システムの再構築や主力物流センターの機能充実など、事業基盤の強化に努めましたが、流通業界の再編などの影響を受けて、売上高・営業利益ともに前中間期を下回りました。また、北米では、食品の製造・販売子会社の売却などにより、売上高は減少しました。

不動産事業 [売上高59億5百万円 / 営業利益39億55百万円]

大阪府茨木市などで宅地を分譲し、合計42区画の売上げを計上することができました。賃貸事業は、平成12年3月から「京都ホテル（御池）」の賃貸を開始しており、増収増益となりました。また、東京都杉並区所在の販売用不動産の売却など、資産の流動化にも努めました。

その他の事業 [売上高29億66百万円 / 営業利益1億76百万円]

連結子会社の増加や、バイオサイエンス事業における化粧品原料の売上げが好調に推移しました。

くらしの笑顔を増やし隊、ニチレイグループ 当社及び114社

平成12年9月30日現在

当社グループは、当社、子会社100社および関連会社14社で構成され、低温物流、食品、不動産、その他の4事業ならびにこれらに付帯する業務を展開しています。各事業に属している子会社・関連会社数を記載し、当社グループの事業概要をご紹介します。



低温物流事業

国内 47 社

低温保管
低温輸配送
流通加工（凍結・解凍・加工など）
配送センター（TC）
角氷、包装氷の製造・販売

海外 9 社

低温保管
低温輸配送
流通加工（凍結・解凍・加工など）
配送センター（TC）
統括管理（欧州）
資金調達（欧州）

不動産事業

国内 2 社

オフィスビル等の賃貸
宅地の分譲
不動産の賃貸・管理など



食品事業

国内 33 社

加工食品
水産品
畜産品
加工食品の製造・加工・販売
製造作業代行
水産品の加工・販売
加工作業代行
畜産品の加工・販売
加工作業代行
食品卸・小売など

海外 15 社

加工食品
水産品
畜産品
加工食品の製造・加工・販売
アセロラの研究開発
水産品の加工・販売
食品の製造・加工・販売
統括管理（北米）
資金調達（北米）

その他の事業

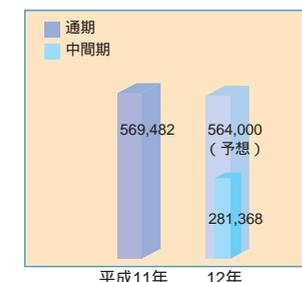
国内 7 社

診断薬・化粧品原料の製造・販売
フラワーの生産・販売
保険代理店
建築工事・設計
その他

国内 1 社

全社共通
人事・総務業務代行

売上高
（年度 / 単位：百万円）



経常利益 / 当期純利益
（年度 / 単位：百万円）



総資産 / 純資産
（年度 / 単位：百万円）



当中間期から、中間連結決算を実施しています。売上高、経常利益および当期純利益の予想は、平成12年11月16日公表値を記載しています。なお、この業績予想には、不確定な要素などが含まれており、実際の業績は記載の予想とは異なる可能性があります。

連結決算概要

当中間期から、金融商品に係る会計基準および退職給付に係る会計基準を適用しています。

中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第83期 平成12年9月30日現在	科 目	第83期 平成12年9月30日現在
資産の部		負債の部	
流動資産	142,261	流動負債	172,999
現金及び預金	7,962	支払手形及び買掛金	53,114
受取手形及び売掛金	90,295	短期借入金	41,616
たな卸資産	37,342	コマーシャルペーパー	6,000
繰延税金資産	1,171	長期借入金(1年以内返済)	11,166
その他	5,740	社債(1年以内償還)	30,000
貸倒引当金	251	未払法人税等	4,286
固定資産	245,502	その他	26,815
有形固定資産	176,819	固定負債	123,482
建物及び構築物	102,267	社債	35,000
機械装置及び運搬具	22,707	繰換社債	6,307
土地	46,462	長期借入金	56,207
その他	5,381	繰延税金負債	3,736
無形固定資産	5,519	退職給付引当金	2,838
投資その他の資産	63,163	役員退職慰労引当金	1,030
投資有価証券	50,566	その他	18,361
繰延税金資産	1,227	負債合計	296,481
その他	12,609	少数株主持分	853
貸倒引当金	1,240	資本の部	
資産合計	387,763	資本	30,307
		資本準備金	23,704
		連結剰余金	28,975
		その他有価証券評価差額金	8,777
		為替換算調整勘定	1,335
		自己株式	0
		資本合計	90,428
		負債、少数株主持分及び資本合計	387,763

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 166,420百万円
2. 保証債務 6,152百万円

3. 1株当たり中間純利益 4円38銭
4. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

中間連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第83期 平成12年4月1日から 平成12年9月30日まで
売上高	281,368
売上原価	226,286
販売費及び一般管理費	43,738
営業利益	11,343
営業外収益	1,530
営業外費用	3,025
経常利益	9,847
特別利益	9,176
特別損失	16,843
税金等調整前中間純利益	2,180
法人税、住民税及び事業税	4,398
法人税等調整額	3,500
少数株主利益	79
中間純利益	1,362

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

(注) 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金 7,962百万円
預入期間3ヶ月超の定期預金 92百万円
償還期間3ヶ月以内の短期投資 9百万円
短期借入金に含まれる当座借越額 52百万円
現金及び現金同等物の中間期末残高 7,828百万円

中間連結剰余金計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第83期 平成12年4月1日から 平成12年9月30日まで
連結剰余金期首残高	28,612
連結剰余金増加高	396
連結子会社などの増加による増加額	396
連結剰余金減少高	1,396
配当金	932
取締役賞与金	171
連結子会社などの増加による減少額	292
中間純利益	1,362
連結剰余金中間期末残高	28,975

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第83期 平成12年4月1日から 平成12年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,946
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,873
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,479
現金及び現金同等物に係る換算差額	30
現金及び現金同等物の増減額	1,376
新規連結に伴う現金及び現金同等物増加高	247
現金及び現金同等物の期首残高	8,957
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,828

貸借対照表

金融商品に係る会計基準の適用により、

- 従来、流動資産に表示していた有価証券163億22百万円は、投資有価証券に含めて表示しています。
 - 有価証券の取得価額と当中間期末時価評価額との差額151億82百万円は、投資有価証券に計上する一方、固定負債の繰延税金負債に63億74百万円を、少数株主持分に30百万円を、その他有価証券評価差額金に87億77百万円をそれぞれ計上しています。
- 当中間期の設備投資額は55億54百万円、減価償却費が69億3百万円となりました。
- 有利子負債の当中間期末残高は、前期末に比べ85億43百万円減少し、1,862億97百万円となりました。

損益計算書

冷凍食品を中心に加工食品事業が好調に推移するとともに、畜産事業の採算も前期に比べ改善されました。また、不動産事業は宅地分譲を積極的に展開しました。

退職給付に係る会計基準が適用されることに伴い、退職給付会計基準変更時差異166億1百万円が発生しますが、保有株式を退職給付信託に拠出し充当するなど、当期において一括償却することとしました。当中間期では、退職給付信託への拠出額134億52百万円と同額を損失処理するほか、残額31億49百万円の2分の1を償却し、合計で150億26百万円を特別損失に計上しました。なお、下半期の損失負担額15億74百万円につきましては、当期純利益(予想)に織り込んでいます。

退職給付会計基準変更時差異とは、退職給付に係る会計基準の適用初年度の期首における、同基準による未積立退職給付債務と従来の会計基準により計上された退職給付引当金等の金額との差額をいいます。

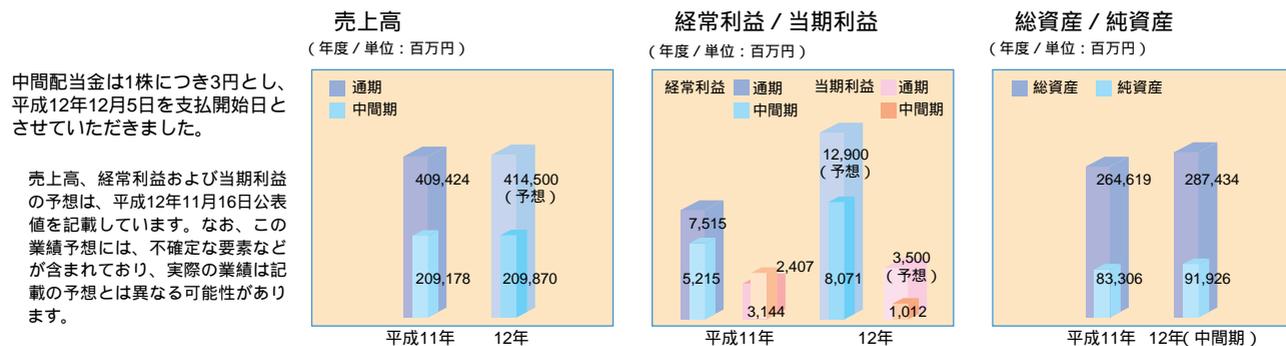
単独決算概要

財務ハイライト

区分	単位	第79期中間期 平成8年度	第80期中間期 平成9年度	第81期中間期 平成10年度	第82期中間期 平成11年度	第83期中間期 平成12年度
売上高	百万円	225,748	219,271	209,360	209,178	209,870
営業利益	百万円	4,600	3,618	2,757	6,076	8,396
経常利益	百万円	3,683	2,893	2,115	5,215	8,071
中間利益	百万円	1,573	872	4,104	3,144	1,012

区分	単位	第79期 平成8年度	第80期 平成9年度	第81期 平成10年度	第82期 平成11年度	第83期中間期 平成12年度
総資産	百万円	290,938	288,643	277,498	264,619	287,434
純資産(株主資本)	百万円	89,463	88,696	82,202	83,306	91,926
有利子負債	百万円	130,878	134,798	126,877	107,712	108,466
設備投資額	百万円	13,729	7,688	5,301	3,482	2,604

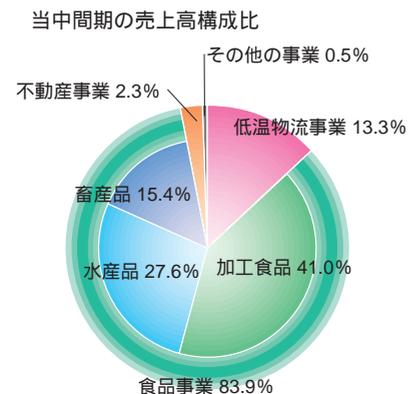
(注) 事業税の表示変更に伴い、第79期中間期から第81期中間期の営業利益および経常利益は事業税額を加算して記載しています。



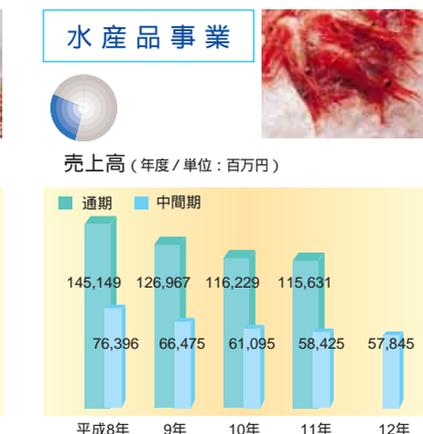
中間配当金は1株につき3円とし、平成12年12月5日を支払開始日とさせていただきます。

売上高、経常利益および当期利益の予想は、平成12年11月16日公表値を記載しています。なお、この業績予想には、不確定な要素などが含まれており、実際の業績は記載の予想とは異なる可能性があります。

売上高の推移



食品事業



単独決算概要

当中間期から、金融商品に係る会計基準および退職給付に係る会計基準を適用しています。

中間貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	第83期 平成12年9月30日現在	科 目	第83期 平成12年9月30日現在
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	109,279	流 動 負 債	122,153
現金・預金	2,905	支払手形・買掛金	32,212
受取手形・売掛金	70,122	短期借入金	18,712
棚卸資産	28,254	コマーシャルペーパー	6,000
繰延税金資産	2,416	社債(1年以内償還)	30,000
その他	6,407	長期借入金(1年以内返済)	3,605
貸倒引当金	828	引当金	3,555
固 定 資 産	178,155	そ の 他	28,067
有形固定資産	105,910	固 定 負 債	73,354
建物	56,421	社 債	35,000
機械装置	13,942	社 債	6,307
土地	28,712	長期借入金	8,841
その他	6,835	繰延税金負債	3,918
無形固定資産	2,235	引当金	886
投資等	70,009	引 り	18,387
投資その他	70,644	そ の 他	13
貸倒引当金	635	負 債 合 計	195,508
資 産 合 計	287,434	資 本 の 部	
		資 本	30,307
		法定準備金	29,222
		剰余金	23,796
		(うち中間利益)	(1,012)
		評価差額金	8,599
		資 本 合 計	91,926
		負 債 及 び 資 本 合 計	287,434

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 122,182百万円
2. 保証債務 43,726百万円
3. 1株当たりの中間利益 3円25銭(中間期末発行済株式数による)
4. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

貸借対照表

金融商品に係る会計基準の適用により、

- 従来、流動資産に表示していた有価証券157億95百万円は、投資その他の資産に含めて表示しています。
- 有価証券の取得価額と当中間期末時価評価額との差額148億1百万円は、投資その他の資産に計上する一方、固定負債の繰延税金負債に62億1百万円を、資本の部の評価差額金に85億99百万円をそれぞれ計上しています。ユーロ円建普通社債100億円および第11回無担保社債200億円は、当中間期において償還期限が1年以内となりましたので、前期までの固定負債から流動負債に振り替えて表示しています。

株式の状況

(平成12年9月30日現在)

中間損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	第83期 平成12年4月1日から 平成12年9月30日まで
売 上 高	209,870
売 上 原 価	171,028
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	30,446
営 業 利 益	8,396
営 業 外 収 益	1,452
営 業 外 費 用	1,777
経 常 利 益	8,071
特 別 利 益	9,322
特 別 損 失	15,661
税 引 前 中 間 利 益	1,731
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	3,489
法 人 税 等 調 整 額	2,770
中 間 利 益	1,012
前 期 繰 越 利 益	2,050
中 間 未 処 分 利 益	3,063

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

損益計算書

冷凍食品を中心に加工食品事業が好調に推移し、不動産事業も宅地分譲を積極的に展開したことから、営業利益が前中間期に比べ23億19百万円増加しました。

退職給付に係る会計基準の適用により、

- 退職給付債務の未積立額に充当するため、保有株式を退職給付信託に抛出し、その信託設定額134億52百万円と帳簿価額57億25百万円との差額77億27百万円を退職給付信託設定益として特別利益に計上しました。
- 退職給付会計基準変更時差異141億41百万円を当期で一括償却することとし、当中間期では、退職給付信託に抛出した額(信託設定額と同額)を含む137億96百万円を特別損失に計上しました。

退職給付会計基準変更時差異とは、退職給付に係る会計基準の適用初年度の期首における、同基準による未積立退職給付債務と従来の会計基準により計上された退職給付引当金等の金額との差額をいいます。

会社が発行する株式の総数…………… 720,000,000株
発行済株式の総数…………… 310,851,065株
1単位の株式数…………… 1,000株
株主数…………… 31,891名

大株主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
住友信託銀行株式会社(信託口)	26,152	8.4
日本生命保険相互会社	18,539	6.0
株式会社富士銀行	13,655	4.4
日産火災海上保険株式会社	9,968	3.2
第一勧業富士信託銀行(年金信託口)	7,224	2.3
株式会社東海銀行	7,132	2.3
三菱信託銀行株式会社(信託口)	6,060	1.9
株式会社日本興業銀行	5,514	1.8
株式会社第一勧業銀行	5,403	1.7
第一生命保険相互会社	5,351	1.7

(注) 持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。

KEYWORD

ニチレイならではの企業活動やトピックスなどをキーワードによりご紹介します。

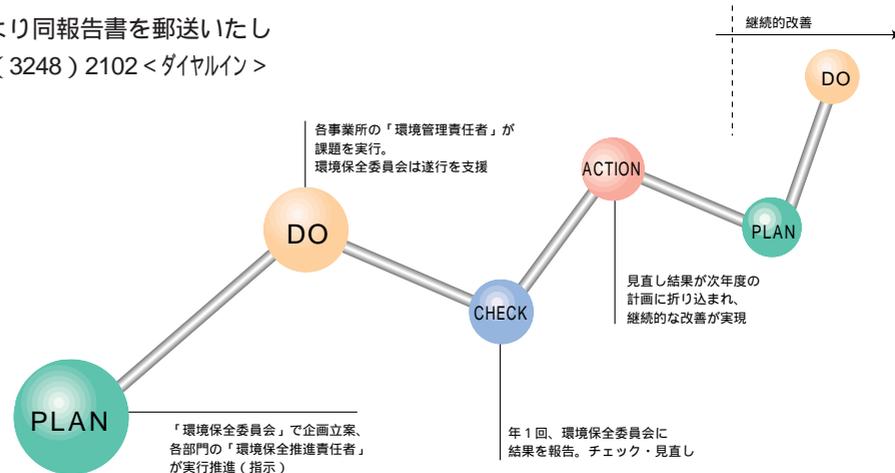
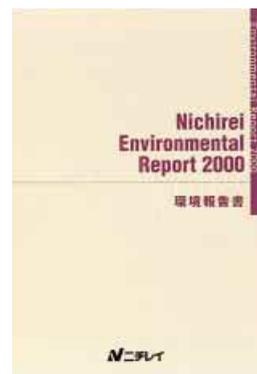
ニチレイ環境報告書2000

当社では、昨年7月に経営に直結した、環境保全に関する全社的意思決定機関である「環境保全委員会」を設立し、本格的な取組みをスタートさせています。

今年からはさらに具体的な取組み内容および成果を報告する「環境報告書」を年1回のペースで発刊することとし、広く当社の環境保全への対応情報を開示することで、多くの方々との建設的な対話を続けてまいります。

初版となる「環境報告書2000」は、現状の報告と今後の取組みへの決意が主な内容となっています。特に、当社にとって優先課題である食品事業や低温物流事業の環境負荷低減活動や主要事業所の環境マネジメントシステム構築などにつきましては、重点的に継続的な改善をめざします。

株主の皆さまにもご希望により同報告書を郵送いたしますので、詳しくは、電話03(3248)2102<ダイヤルイン>にお問い合わせください。



環境報告書の発刊趣旨

- (1) ニチレイ、ニチレイグループが英知を結集し、事業活動によって生じる環境の負荷に確実に対処し、その成果を創出すること
- (2) その対応の仕組みを構築することにより継続的に改善を図ること
- (3) 業界、他の産業、団体等の皆さまと共に手を携えること
- (4) その活動状況を社会の皆さまに情報公開すること



INTRODUCTION

各カテゴリ別に代表的な商品をご紹介します。

チキン冷凍食品

家庭用

家庭用冷凍鶏唐揚げカテゴリーで当社はシェアNo.1です。お弁当用として冷めても硬くならない技術が生かされています。



からあげチキン

業務用

サンバレー社（世界最大の穀物メジャー：カーギル社傘下）との共同開発商品。フレッシュチキンを新鮮なまま調理し、サクッとジューシーに仕上げました。



Nフライチキン(ドラム)

米飯冷凍食品

家庭用

家庭用冷凍おにぎりカテゴリーで当社はシェアNo.1です。米、醤油、水、形にこだわった逸品です。



焼おにぎり

業務用

ロブスターなどの殻からとったブイヨンと香味野菜を煮込んだ「ソースアメリカヌ」を使用。ホクレンとの提携により、業務用米飯（ピラフ）カテゴリーを強化していきます。



レストランユースえびピラフ

中華冷凍食品

家庭用

今春の新商品。こだわりの素材と技術を駆使して開発。日経流通新聞の新製品売れ行き週間ランキングで1位を獲得しました。



甘えびシューマイ

業務用

業務用冷凍春巻カテゴリーで当社はシェアNo.1です。揚げたての皮のパリパリとした食感が長時間保てる、当社独自の技術が生きています。



パリパリ春巻

特集

3PL事業への取組み

LOGIPLAN

国内最高水準の三位一体により 7兆円市場へ挑みます。

3PL

3PL事業を担う新会社
株式会社ロジスティクス・プランナー

ニチレイ

物流改善ノウハウ
業務運営ノウハウ
=提案実現力
既存顧客網

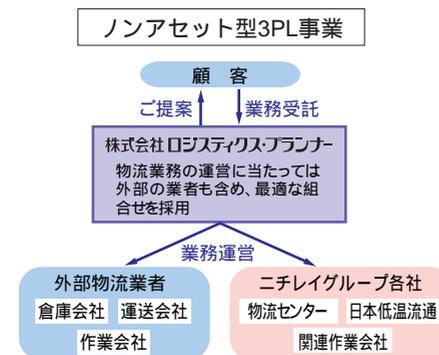
NTTデータ

最先端の情報技術(IT)
ネットワーク・インフラ
システム開発力

伊藤忠商事

ビジネス・
ネットワーク

本年11月1日に当社、株式会社NTTデータ、伊藤忠商事株式会社の3社による、ノンアセット型3PL事業を担う合弁会社「株式会社ロジスティクス・プランナー」が誕生し、本格稼働へ向けてスタートしました。新会社は、2003年からの6年間で毎年約7兆円といわれる規模の物流改善市場に参入しようとするもので、去る5月末の設立に関する記者会見の際には、ニチレイの物流ノウハウ、NTTデータの情報技術(IT)、伊藤忠商事のビジネス・ネットワークという、国内最高水準の強みをもった3社の有機的な結合は、関係取引先から多大な注目を集めました。



国内の物流マーケットの規模は約52兆円、うち物流専門業者以外に消費されている、企業内物流に係るコストは約26兆円といわれており、日本企業の物流管理が未整備であることから、物流業務の改革は企業の経営改善および利益向上に大きく影響を及ぼします。そうした物流業務の改革を担える企業の付加価値が高まりつつあるなか、かねてよりニチレイグループは、保管・輸配送・共配センター業務を受託する流通型事業を展開し、近年では物流のトータルな効率化をお客さまにご提案する3PL事業をスタートさせ、順調に拡大を続けてきました。しかし、今後のさらなる発展のためにはITの活用が不可欠であることから、今回の3社共同による新会社設立に踏み切りました。

新会社の事業内容は、(1)物流効率化に向けたコンサルティングおよび物流システムの設計・導入 (2)SCM (サプライチェーン・マネジメント) の実現をめざす物流の包括受託 (3)物流関連ポータル

株式会社ロジスティクス・プランナー (LOGIPLAN)

本社所在地：東京都千代田区三崎町三丁目3番23号
資本金：7億円
従業員数：35名 (平成12年11月1日現在)

ルサイトの構築を、3本の柱としています。なお、出資比率は当社56%、NTTデータ34%、伊藤忠商事10%となっており、ニチレイグループは、株式会社ロジスティクス・プランナーを低温物流事業における重要戦略子会社と位置づけ、2~3年のうちに売上高200億円を目標に一体となって尽力していきます。

出所：日本ロジスティクスシステム協会、マッキンゼー分析

用語解説

3PL (サードパーティロジスティクス) 事業

荷主である顧客企業から、運送業務や保管業務を個別に受託するにとどまらず、調達から在庫管理、配送まで顧客の全物流業務の改善を提案し、再設計を行ったうえで包括的物流業務を受託・運営する事業。その際、アセット型3PLは自社の物流設備を活用して3PLサービスを提供するのに対し、ノンアセット型3PLは、他社の物流設備を活用して3PLサービスを提供する。

SCM (サプライチェーン・マネジメント)

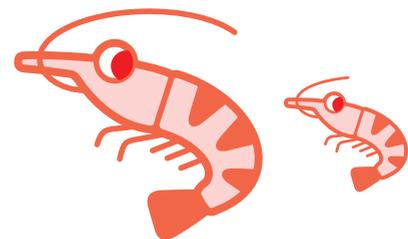
調達から在庫、配送までの物流フローを包括的にコントロールする手法。

物流関連ポータルサイト

在庫照会や空車情報など複雑な物流情報を一括管理する、インターネットの入口となるWebサイト。

HIT

ヒット商品開発ストーリー

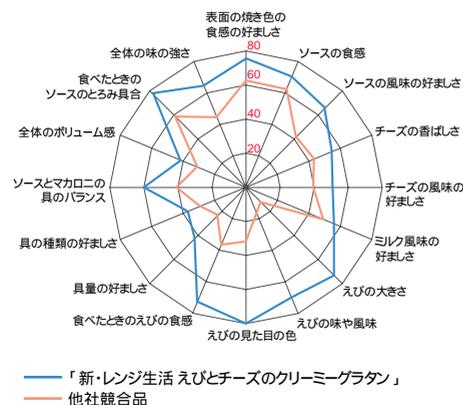


えびにこだわり、さらにボリュームUP!

「新・レンジ生活 えびとチーズのクリーミーグラタン」



「新・レンジ生活 えびとチーズのクリーミーグラタン」と他社競合品との味覚評価



当社は、1998年春に「新・レンジ生活 えびクリームグラタン」を発売し、電子レンジで焼き目がつくおいしいグラタンができる！と多くのお客さまから高い評価をいただきました。そのヒット商品にさらなる改良を加え、本年9月にリニューアル発売いたしましたのが、「新・レンジ生活 えびとチーズのクリーミーグラタン」です。

商品開発に当たっては、“生活者”である皆さまのお声を徹底的に集めました。そして浮かび上がってきたのが、「育ち盛りの子供はもっとボリューム感を求めている」、「冷凍食品のグラタンは具材が寂しい」というニーズです。

当社は、まずコストを徹底的に見直し、220gの容量からより満足感のある240gへとボリュームアップを実現させることにより、育ち盛り世代の商品満足度を大きく向上させることができました。

さらに、お客さまのもう一つのニーズにお応えするため、具材の見直しを実施しました。これは水産品事業を持つ当社の強みを生かし、甘えびシユマイと同様に、素材のえびに強くこだわりました。台湾や香港に訪問した方が多くが、味・食感・色のバランスがよい「ヨシえび*」を使った料理のおいしさに驚かれたと思います。今回のグラタンには、当社水産部が調達したこの「ヨシえび*」を使用し、当社ならではのグラタンに仕上げています。

「電子レンジでこんがりとした焼き目がつくニチレイのグラタンが、容量も増え、えびもおいしくなった」と好評です。ぜひ一度お試しください。

* ヨシえび

高級天ぷら素材として使用されるほか、生きたまま老酒をかけて踊り食いするえびとして有名。



ザクザク衣で、手作りのおいしさ!

「特撰Deliコロッケ」

スーパーマーケットのお惣菜売場では「コロッケ」が一番の売れ筋商品のひとつであり、当社の「十勝ほっかりコロッケ」は、コロッケパイキングに適したコロッケとして、品質の高いコロッケのスタンダードになっています。

近年、お店の顔であるコロッケには、冷凍コロッケをやめてチルドのコロッケに変える動きが出てきました。冷凍コロッケよりチルドのコロッケのほうが衣が薄くなり、さらにパン粉のザクザクした剣立ちがはっきりしておいしそうに見える、というのがその理由です。しかし、チルドのコロッケは、形が崩れたり、売れ残った分は捨てなければならなかったりするので、スーパーマーケットのロス率が高くなります。(ちなみに冷凍コロッケのロス率は基本的にはゼロパーセントです。)「おいしいコロッケということでチルドコロッケを導入したが、ロスが多く収益が上がらない」ことにスーパーマーケットの方は悩んでしまったのです。

当社は、そうしたニーズにお応えするため、「チルドコロッケよりおいしい冷凍のコロッケを作ろう!」を合言葉に数年越しで開発プロジェクトを進めました。そして生まれたのが、ニチレイの「特撰Deliコロッケ」です。

パン粉から当社オリジナルのものを開発し、パン粉をコロッケにつける工程も手作りの技に引けを取らないものに直していきました。その結果、手作り感溢れるザクザクとした見映えで、じゃがいものホクホクとしたおいしさを優しく包み込む薄い衣を実現させることができたのです。当社が自信を持って「特撰!」と名づけた所以です。

おかげさまで、多くのお取引先から高い評価をいただいております。ぜひ一度お試しください。

「特撰Deliコロッケ」と他社チルド品との味覚評価



会社概要

(平成12年9月30日現在)

社名	株式会社ニチレイ		
所在地	東京都中央区築地六丁目19番20号 ニチレイ東銀座ビル		
設立	昭和17年12月		
役員	代表取締役社長	手島 忠	
	専務取締役	中野 勤治	
	専務取締役	吉川 好三	
	専務取締役	山口 修司郎	
	常務取締役	福田 厚司	
	常務取締役	原 直弘彦	
	常務取締役	村上 英彦	
	取締役	横田 浩二彦	
	取締役	後藤 一彦	
	取締役	島津 忠之	
	取締役	大戸 武元	
	取締役	榎 敏秀	
	取締役	前嶋 弘一	
	取締役	千葉 充幸	
	取締役	浦野 光人	
	取締役	遠山 昌利	
	取締役	椎橋 治男	
	取締役	笠井 剛裕	
	取締役	荒 昌修	
	取締役	秋山 義比古	
	取締役	相馬 文男	
常任監査役(常勤)	北 文男		
監査役(常勤)	浜田 鴻之介		
監査役	河上 和雄		
監査役	内野 治泰		
従業員数	2,311名		
会計監査人	監査法人 太田昭和センチュリー 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル		



本社

ホームページアドレス <http://www.nichirei.co.jp/>

支社

北海道支社	〒060-0010	札幌市中央区北10条西20-2-20 ☎(011) 631-0178
東北低温物流支社	〒980-8486	仙台市青葉区中央3-2-1 ☎(022) 711-2101
東北営業支社	〒980-8486	仙台市青葉区中央3-2-1 ☎(022) 711-2101
関東低温物流支社	〒104-0043	東京都中央区湊3-5-7 ☎(03) 3297-4501
関東営業支社	〒104-0043	東京都中央区湊3-5-7 ☎(03) 3297-4501
中部低温物流支社	〒456-0072	名古屋市熱田区川並町2-16 ☎(052) 683-2551
中部営業支社	〒456-0072	名古屋市熱田区川並町2-16 ☎(052) 683-2551
関西低温物流支社	〒541-0056	大阪市中央区久太郎町1-4-8 ☎(06) 6263-2555
関西営業支社	〒541-0056	大阪市中央区久太郎町1-4-8 ☎(06) 6263-2555
九州低温物流支社	〒814-0001	福岡市早良区百道浜1-7-5 ☎(092) 841-6700
九州営業支社	〒814-0001	福岡市早良区百道浜1-7-5 ☎(092) 841-6700

2000 ニチレイカップ ワールドレディス ゴルフトーナメント



歴史ある「ワールドレディス」に、今年からニチレイが特別協賛しています。去る5月の第28回大会は、カーリー・ウェブ選手が圧倒的な強さを見せつけて優勝。好天にも恵まれ、入場者数は4日間で1万7千人余りを記録し、大いに盛りあげました。

HOPPE

本誌「HOPPE(ほっぺ)」の由来

安心・安全でおいしい製品をお届けする総合食品企業・ニチレイのイメージを、健康的で暖かい語感を持つ「ほっぺ」に、希望を意味する「Hope(ホープ)」をかさね合わせたネーミングで表現してみました。この「HOPPE」を通して、株主の皆さまにのびのびとしたさまざまな分野で貢献するニチレイをご理解していただければ...と考えています。

株主の皆さまへ アンケートのお願い

当社は、今後も事業報告書を株主の皆さまとのコミュニケーションの場として充実させていきたいと考えています。お手数ですが、次のアンケートにご意見、ご感想をお寄せください。(切手を貼らずにご投函ください。)

株主の皆さまへ アンケートのお願い

当社の株式について今後どのような方針をお持ちですか？

- | | |
|--------|--------|
| 1.長期保有 | 2.買い増し |
| 3.売却 | 4.未定 |

また、上記方針を決定するための判断材料は何でしょうか？

- | | |
|----------|--------|
| 1.株価 | 2.配当 |
| 3.業績 | 4.将来計画 |
| 5.その他() | |

株主懇談会についてお伺いいたします。

- A：株主懇談会の開催について
- | | |
|-----------|-------------|
| 1.開催してほしい | 2.開催する必要はない |
|-----------|-------------|

B：開催してほしいと回答された方にお伺いいたします。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1.出席したい | 2.できれば出席したい |
| 3.出席するつもりはない | |

C：どのような内容を希望されますか？

- | | |
|------------------|--|
| 1.役員との懇談 | |
| 2.経営方針などを詳しく聞きたい | |
| 3.当社製品の試食・意見交換 | |
| 4.その他() | |

当社または当社製品に対するご意見などがございましたらお聞かせください。

キリトリ線

キリトリ線